

1. 基本情報

渡航先国名・地域名 (☆)	カナダ ブリティッシュコロンビア州
滞在都市 (☆)	バンクーバー
留学先大学等名 (☆)	ブリティッシュコロンビア大学
留学先での所属学部/研究科 (☆)	商学部 (Sauder School of Business)
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日 (☆)	2014年 8 月 29 日
渡航先からの出国日 (☆)	2015年 5 月 1 日
渡航先国での滞在期間 (☆)	8 カ月
同伴者の有無・続柄・年齢等	無
その他	

2. 留学先の大学に関する情報

2. 1 授業に関する情報

履修科目名称	Quantitative Decision Making
履修期間	Term 1
授業時間 (○分×△回)	講義 80 分×週 2 回、Lab50 分×週 1 回
授業形態 (講義・セミナー)	講義、Lab
取得単位数	
履修科目名称	Financial Accounting
履修期間	Term 1
授業時間 (○分×△回)	80 分×週 2 回
授業形態 (講義・セミナー)	講義 (パソコン使用)
取得単位数	
履修科目名称	Managerial Economics
履修期間	Term 1
授業時間 (○分×△回)	80 分×週 2 回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	
履修科目名称	Marketing
履修期間	Term 2
授業時間 (○分×△回)	80 分×週 2 回他
授業形態 (講義・セミナー)	講義、グループワーク
取得単位数	

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

履修科目名称	Finance
履修期間	Term 2
授業時間 (○分×△回)	80分×週2回
授業形態 (講義・セミナー)	講義
取得単位数	
履修科目名称	Organizational Behavior
履修期間	Term 2
授業時間 (○分×△回)	80分×週2回他
授業形態 (講義・セミナー)	講義、グループワーク
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
履修科目名称	
履修期間	
授業時間 (○分×△回)	
授業形態 (講義・セミナー)	
取得単位数	
留学生 (日本人) の割合	多い
成績評価の方法 (試験・課題の数や分量等)	授業による (試験のみのものもあるが、課題が加味されるものが多い)
履修科目の制限等 (あれば)	
(英語圏以外の場合) 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	

語学に関するサポート(特別授業、チューター、エッセイライティングに関するサポート等)	なし
授業内での留学生に対するサポート等	なし
その他	

2. 2 福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	生協はなし。キャンパス内にスターバックス、SUBWAYなどのカフェやファーストフードは多い。Bookstoreで教科書、土産、大学のパーカーなどを売っている。
図書館について	大学内に4つ。最大の図書館にはカフェあり、夜中1時に閉館、試験期間中は24時間開館。
保健センター等の有無	病院がある。
クラブ・サークル等について	
留学生へのサポート	なし
オリエンテーション等学校主催の行事について	Imagine Dayという学校全体でのオリエンテーションあり。
現地の学生との交流について	授業、生活
他の留学生との交流について	授業、生活
学外での活動について(地域コミュニティ活動等)	
長期休暇中の過ごし方	基本的には寮から追い出されない。
その他	

3. ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類(☆)	就学ビザ
ビザの取得手続きについて(申請方法、申請から取得までの所要期間等)(☆)	インターネット上で申請
利用航空会社	全日空
入国の際の現地空港名	バンクーバー国際空港
空港から滞在先への移動について(交通手段や所要時間)	私は友達に迎えに来てもらったが、タクシーを利用した人が多かったらしい。帰りはタクシーを利用した。
入国審査について(提示した書類、審査官からの質問等)	ビザは許可証を印刷したものを提示し、immigration専用のカウンターでビザを交付され、入国。

渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	
その他	

4. 金銭に関する情報

奨学金の受給	① 無
奨学金名	業務スーパージャパンドリーム財団海外留学プログラム
奨学金月額受給額（円）	
入国時に用意した金額	
クレジットカードについて（カード会社名・日常の利便性）	インターネットにて支払うことも多いため、必要。日常生活でも、基本的にどこでも使えるため便利。
留学中に利用した銀行名	Scotia Bank
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	Scotia Bank にて口座開設。大学内に支店があり、留学生用のプランもある。
デビットカードの使用について	Scotia Bank 口座開設と同時に発行。とても便利。
日本からの送金方法について	Scotia Bank の口座に日本より送金。
1ヶ月の生活費（目安）	
その他	

5. 暮らしに関する情報

5. 1 住居に関する情報

住居の種類（学生寮（一人部屋・二人部屋）・アパート等）	学生寮。個人部屋あり。6人でキッチン・シャワーなどは共用。
家賃	月約7万円
住居を探した方法・時期	留学先の大学から連絡が来た。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー、国際宅配便（会社名、プランも）等）	行きはスーツケース2個。帰りはスーツケース2個と国際宅急便1個（詰め放題パック）。
その他	

5. 2 食生活についての情報

普段の食事（自炊・食事つき学生寮等）	自炊。ときどき外食。
1ヶ月の食費	
その他	

5. 3 その他日常生活に関する情報

電話について	プリペイド式携帯電話を購入。
インターネットについて（Wi-Fi環境等）	キャンパス内は建物ではWi-fiあり。

大阪大学経済学研究科/経済学部
部局間協定校派遣生の海外留学体験談

コンピューターについて	日本より持参。
郵便について	キャンパス内に郵便局あり。
交通機関について	バスが主な交通手段。一部スカイトレイン。
治安について	比較的良好。ただし、よくない場所もある。
保険について	留学先大学より提示があり、基本的に全員加入。
医療機関・薬について	キャンパス内の病院は保険を利用すれば無料。
気候と服装について	雨がよく降る。
普段の買い物について	食料品はスーパーで購入。ダウンタウンやショッピングモールもバスやスカイトレインで行ける。
娯楽・行事について	
日本語の使用について	
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	日本のインスタント食品（現地でも調達できるが、価格が3倍ほど）
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	
その他	

6. 就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	なし。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのコンタクト、インターシップ等）	大学内に日本の企業への就職を応援する団体があり、キャンパスで説明会を行った企業も数社ある。

7. 語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	TOEFL
留学中の学習方法、工夫したこと等	
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	

8. その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	

留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	
-----------------------	--

9. 留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を1～2ページ（様式任意）で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室のHPやNewsletterに掲載させていただく可能性があります）。

私は2014年9月から2015年4月まで8カ月間、カナダのバンクーバーにあるブリティッシュコロンビア大学（以下UBC）に交換留学をしました。UBCでは様々なバックグラウンドを持った学生が世界各国から集まっており、その中で共に授業を受け、共に生活することはとても刺激的でした。

私は、高校時代にアメリカに1年間留学をし、次は海外の大学で自分の専攻を学びたいと思い、大学在学中に交換留学をすることを決めていました。また、部局間協定の制度を利用することで、UBCでは商・経営学部在籍できるということでしたので、留学を通して様々な分野にわたるビジネスの基礎を身に付けたいとも考えていました。

「海外の大学では、講義中にただ聞いているだけではなく、積極的に意見を言わなくてはならない」とよく聞いたことがあり、私もそのようなステレオタイプを持っていました。確かにそのような講義もありますがそれが全てではなく、もちろん聞いているだけの講義もありました。他には、オンライン上で練習問題を行うもの、授業中に適宜クイズを行い予習の内容や説明した内容を確認するもの、TA（授業ごとに担当の大学院生がいます）がコンピューターの時間を担当しエクセルでの実践を教えるもの、授業外の時間にグループワークを行って課題をこなすもの、と様々でした。UBCでの授業は、理論だけでなく実社会の例に当てはめて考えるものが多かったため、理解しやすかったように感じます。世界中から学生が集まってきているため、授業の内容や教授が示す例もアメリカを中心とすつつ世界に通用するもの、つまりスケールが大きく、世界の中でビジネスがどのように動いているのかがわかり、とても興味深かったです。

授業では初めは理解することに必死でした。グループワークでは、活発に意見が飛び交い、自分の意見を持ち強く主張するメンバーに圧倒されて口を挟むこともできずただ話し合いを聞いているだけ、それも話についていけず話の流れを見失ってしまうことさえありました。グループで仕上げる課題のペーパーも自分が拙い英語で書くよりもカナダ人のメンバーが書いた方がよりよいものに仕上がるうえ、ほとんど意見も出せておらず、自分のグループ内での存在意義に疑問を感じてしまうこともありました。少しでも何か役割を

果たしたいという気持ちから、自分がどのようにグループに貢献できるか必死に考えました。そこで、私は講義中の内容をできる限り書き止め、欠席したグループのメンバーにも講義の内容が伝わるように工夫して話し、課題の取り組みに活かされるように努力しました。また、発表に使用するスライドを作成するなど、自分から仕事を見つけて取り組みました。つらかった時期も乗り越えて考えに考えぬいて努力したことで、私なりにグループに貢献することができ、それが自分の成長にもつながったと思います。

最も印象に残っているのはマーケティングです。マーケティングについてほとんど知識がない状態での受講でしたが、実際の企業の例を多く利用して説明されていたので、とても理解しやすかったです。例えば、マーケティング戦略のひとつであるプロモーションについて学んだときは、教授がある企業のコマーシャルを Youtube で見せ、それらの違いについてどう思うかをグループで話し合ったこともありました。この授業では、1年間を通して、グループごとに決めた企業のマーケティングプランを考えるというプロジェクトがありました。私のグループはマクドナルドを選択し、なぜ現在売上げが落ちているのかということから始まり、これからどうすればいいのかをマーケティングの手順に従って考えました。実際に店へ行って消費者行動を観察したり、ファーストフード業界の現状についても深く考えました。まとめとして、6~7分程度のビデオを作成しました。このような経験は日本の授業ではしたことがなかったので私にとって新鮮であり、マーケティングをより身近に感じて学ぶことができました。

カナダは多民族国家であり、バンクーバーにも様々な人種の人が暮らしています。街を歩くだけで様々な言語が飛び交っていることを実感できます。ある店先の看板には6か国語ほどで店の名前が書かれていました。その分様々な料理を味わうことができ、モンゴル料理やギリシャ料理、ポルトガル料理、ベトナム料理等初めて食べたものも多く、どこの国に滞在しているのかわからなくなるほどでした。また、その中でもアジア系は多く、日本食や韓国・中国の食材も容易に手に入れることができたため、キャンパス内の学生寮に住み自炊をしていた私にとっては、とてもありがたかったです。カナダで食べた”sushi”は日本で食べる寿司と全く異なり、アボカドとカニカマを巻いたカリフォルニアロールだけでなく、照り焼きチキンを巻いたものやマンゴーを乗せたものなど様々な種類があり、「寿司」とは言い難いですがこれもまた違った食べ物としておいしかったです。このように、海外で日本食がどのように食べられているのかを知ることもでき、興味深かったです。アジア系の中でも中国系の人が多く、街を歩いているとしばしば中国系に間違えられました。中国語で話しかけられても何も理解できず、中国語が話せるようになりたいという気持ちが大きくなり、UBCで2学期には中国語初級の授業を履修しました。第二外国語としてはフランス語を受講していましたが、この機会に新たな言語にも興味を持ち、触れることができたのでとてもよかったです。

週末や休暇を利用して様々な場所へ旅行したのもいい思い出です。バンクーバー市内の観光だけでなく、国境を越えてアメリカも訪れました。シアトル旅行の際には（高速バスで約4時間）、陸路で国境を越えるという初めての経験をしました。また、ビクトリア島やカナディアンロッキー、カリフォルニア州のロサンゼルスにも旅行をしました。冬休み

にはアメリカのミネソタ州、高校時代に1年間を過ごした地に戻り、ホストファミリーや友達と再会することができました。このように、週末や休暇もとても有意義に過ごしました。

留学は、普段と異なる環境に身を置くことで、普段は考えないことを考え、自分を見つめなおし、成長につなげることができる絶好の機会だと思います。私はこの留学を通して海外に住み様々な国や地域の人と過ごす中で、日本の良さを改めて実感しました。また、自分の将来についても真剣に考えました。就職活動の時期等を考慮して留学をためらってしまう人もいます。私は学部2回生9月より留学をしたため時期は重なりませんでしたが、3回生時に留学する人が多いのが現実です。それを加味しても、留学をすることで得られることは計り知れず、今にしかできない貴重な経験となることは間違いありません。その経験を味わうためにも、迷っている人も是非留学にチャレンジしてほしいです。